

1 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。

b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。

ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されていません。

c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d **解答通り**という条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。

b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

※字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。

たとえば「:とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。

また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

※ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。

また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。

b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。

c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたものの。

d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 **古文あるいは漢文の訳を記述する設問**の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

問一 a ニ b イ c ハ d ロ 解答通り〔3点×4〕

問二 新古典派の経済学 解答通り〔4点〕

問三 市場は、人間の持つ自然な性向である利己心を、全体としての国民の富へと統合するものであるという見方。(49字) 〔6点〕

A 市場は、(1点)

①「市場」という言及があれば得点。

※ただし、最低Cに関する要素がひとつもない場合は無得点。

B 人間の持つ自然な性向である利己心を、(2点)

①「人間の持つ自然な性向である」：1点。②がない場合は無得点。

②「利己心」：1点。ただし、Cを伴っていない場合は無得点。

C 全体としての国民の富へと統合するものである(3点)

①Bを欠いている場合は、C全体として1点。

※AとCだけでは、合計2点。

②BとCをまとめて「自然的な秩序」とした場合、2点とする。また「自然的秩序」を「利己心と道徳心を併せ持つ人間性を基盤とするもの」としたのも2点とする。

D という見方。

①Dを欠く場合は、全体から減点2点。

問四 X ロ Y ニ

解答通り〔4点×2〕

問五 ホ

解答通り〔5点〕

問六

アメリカ経済学の理論は、スミスの「自然的秩序」の理論と違って、高度な数学を駆使した客観的科学的として体系化されているが、実際は事実に関する理論などではなく、現実を見る場合の基準や規範であり、現実を超越しているものだから。(109字)

〔10点〕

A アメリカ経済学の理論は、(2点)

①「理論」を伴っていない場合は1点。

※「アメリカ経済学」は「今日の経済学」でも可。

※また、傍線部D自体は「アメリカ経済学」のことを言っているので、AがなくてもB以下の得点は認める。

B スミスの「自然的秩序」の理論と違って、(2点)

※「自然的秩序」の語がない場合は得点1点。

C 高度な数学を駆使した客観的科学的として体系化されているが、(2点)

※「数学」があっても「客観的科学的」がない場合は1点。

D 実際は事実に関する理論などではなく、(1点)

E 現実を見る場合の基準や規範であり、(2点)

※「基準」、「規範」どちらかあれば可。

F 現実を超越しているものだから。(1点)

※「現実を超越しているもの」で十分可。

問七 ロ

解答通り〔5点〕

※ 制限字数の半分以上書かなかった場合は無得点とする。

※ 「から。」や「こと。」のように、設問要求に正確に答えていない場合、文末不備として1点減点。

※ 句点を付けていないものも1点減点。

※ 誤字は1点減。

大問二 問一

基準 配点.. 2点×4

■ 模範解答 ※解答例通り (漢字書き取り問題)

- 1 代替
- 2 実践
- 3 端
- 4 述懐

## 大問二 問二

### ■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素B不可
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 6点

### ■模範解答

A  
農家の生活にとって

B  
有効ではない助言。(18字)

### ■採点方法…各要素単独採点

■字数…二十字以内 九字以下のものは全体不可(0点)

### ■要素A 農家の生活にとって…3点

- ・「現実離れた」の、「現実」が「農家の生活」であるということについて説明していないものは、要素A加点数なし
- ・「生活知として」は可
- ・牧羊など、「農家の生活」を具体化しているものは2点減

### ■要素B 有効ではない助言…3点

- ・「現実離れた助言」が「農家の生活」に「有効ではない」ものであるということの説明をしていないものは、要素B加点数なし

大問二 問三

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答

A

科学が発展して知識が増えることは、

B

科学知と生活知との間の乖離の解消に役立つはずなのに、

C

科学の発展が

D

さらにその乖離を拡大させているように思えるということ。(76字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…八十字以内 三十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 科学が発展して知識が増えることは…3点

- ・『知識は力なり』を、「科学の発展による知識の増加」という言い換えを求めたい
- ・同意例…科学技術の発展で知識が増加することは
- ・単に「科学が発展すると、」としているものはバツ
- ・知識が増えることに対しての言及が必要。

■要素B 科学知と生活知との間の乖離の解消に役立つはずなのに…3点

- ・同意例…未解明の領域の解明につながるはずなのに
- ・同意例…理解できることや解決できることに結びつくはずなのに

■要素C 科学の発展が…3点

- ・後半の「逆説」についても、再度「科学の発展」を主語にして説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D さらにその乖離を拡大させているように思えるということ…3点

- ・「逆説」として、要素Bの逆の状態を説明していないものは、要素E加点数なし
- ・同意例…科学だけではそのことの良し悪しが決められない状態が拡大するよう思えるということ
- ・同意例…未解明の領域が広がっていくように思えるということ

「く」に思える」の抜けは2点減

「トランス・サイエンス領域」に言及するのみで説明のないものは 要素B加点数なし

## 大問二 問四

### ■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

### 基準 配点… 6点

#### ■模範解答

A

専門知で理性的に理解したことを、

B

情動で否定するという働き。

#### ■採点方法…各要素単独採点

#### ■字数…三十字以内 十四字以下のもは全体不可(0点)

#### ■要素A 専門知で理性的に理解したことを…3点

・「専門知」を「理性的」に「理解」するということを説明していないものは、要素A  
加点なし

- ・同意例…科学的知識で理性的に理解したことを
  - ・同意例…科学知で合理的に理解したことを
- 「専門知」「理性的」いずれかの抜けは2点減

#### ■要素B 情動で否定するという働き…3点

・要素Aとは異なる知識によって、「情動的」に「否定」するということを説明をして  
いないものは、要素B加点なし

「心理的」そのままでは不可

#### ■別解

情動にもとづく思考回路によって意思決定を行う心の仕組み

※「心理的な」の言い換え…「情動にもとづく思考回路によって意思決定を行う」 3点

※「メカニズム」の言い換え…「仕組み」 3点

大問二 問五

基準 配点… 6点

■ 模範解答 ※解答通り (記号選択問題)

イ

大問二 問六

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 6点

■模範解答

A 3点

公的な情報を、

B 3点

一方向で伝達するもの。

※末尾が「伝達するという用途」となっているものも可。

大問二 問七

基準 配点… 6点

■ 模範解答 ※解答通り (記号選択問題)

示

問一 ① 二重傍線部の読みを、ひらがな、現代仮名遣いで記せ。

【2点】

〔二重傍線部〕

A2 気色

〔正解〕

A2 けしき

〔ポイント〕

A【2点】けしき

※「けしき」以外は×。「きしよく・きそく」等も×。

※ひらがなでない字が使われている場は×。

問一 ② 二重傍線部の読みを、ひらがな、現代仮名遣いで記せ。

【2点】

〔二重傍線部〕

A2 几帳

〔正解〕

A2 きちよう

〔ポイント〕

A【2点】きちよう

米「きちよう」以外は×。

※「きちちゆう・きちちゆう」等、歴史的仮名遣いになっている場合は×。

※ひらがなでない字が使われている場は×。

問二 a 空欄  に入るものとして最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。なお、二箇所ある  には同じ語が入る。【2点】

〔空欄部〕

A2 心の底になん  a

〔正解〕

A2 口

〔ポイント〕

A【2点】 口

※「口」以外は×。

問二 b 空欄  に入るものとして最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。【2点】

〔空欄部〕

A2 …などこそ、  
A2 澄明の後れたる願文にも書きて侍り

〔正解〕

A2 木

b

〔ポイント〕

A【2点】 木

※「木」以外は×。

問三 甲 空欄  に入る語として最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。ただし、選択肢は終止形で書かれている。また、同じ記号は二度解答してはならない。【4点】

〔空欄部〕

A4

左の大臣実雄など、

甲

限りさぶらひ給ひて、御酒参る。

〔正解〕

A4

ハ

〔ポイント〕

A【4点】ハ

※「ハ」以外は×。

※「ハ」と解答していても、乙・丙のいずれか、もしくは両方で「ハ」を解答している場合は×。

問三 乙 空欄  に入る語として最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。ただし、選択肢は終止形で書かれている。また、同じ記号は二度解答してはならない。【4点】

〔空欄部〕

A4

人々何事にかと  乙 思ふ。

〔正解〕

A4

イ

〔ポイント〕

A【4点】イ

※「イ」以外は×。

※「イ」と解答していても、甲・丙のいずれか、もしくは両方で「イ」を解答している場合は×。

問三 丙 空欄  に入る語として最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。ただし、選択肢は終止形で書かれている。また、同じ記号は二度解答してはならない。【4点】

〔空欄部〕

A4

一院は、 丙 憂へにか」とのたまふに、

〔正解〕

A4

ニ

〔ポイント〕

A【4点】ニ

※「ニ」以外は×。

※「ニ」と解答していても、甲・乙のいずれか、もしくは両方で「ニ」を解答している場合は×。

問四 A 傍線部を現代語訳せよ。

【4点】

※ 全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があていければ、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A2 ことごとしからぬほどの B2 御遊び

〔解答例〕

A2 大げさではないくらいの B2 管弦の御遊び

〔ポイント〕

A【2点】 ことごとしからぬほどの ↓ 大げさではないくらいの

※ 「大げさではない」の意があれば【1点】。「大げさで」「は大仰で・仰々しく」等でもよい。

※ 右の意がある上で「くらい・ほど・程度」の意もある場合は【2点】。

B【2点】 御遊び ↓ 管弦の御遊び

※ 「管弦」は「音楽」でもよく、この意があれば、それ以外に「詩歌・舞い」等が足されていてもよい。

※ 「管弦・音楽」の意がない場合は×。

※ 「遊び」は「宴・宴会」等でもよしとする。「管弦の・音楽の」の意があるが、「集まり・会」等になっている場合は【1点】。

※ 「御」の有無は不問とする。

問四 B 傍線部を現代語訳せよ。

【4点】

※ 全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があていければ、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A2 とばかり B2 やすらひて

〔解答例〕

A2 少しの間 B2 ためらって

〔ポイント〕

※ 「やすらひ」の主体の有無は不問。

A【2点】 とばかり ↓ 少しの間

※ 「しばらく・暫時・片時・一時」等、また「少し・ほんの少し・ちょっと」等でもよい。

B【2点】 やすらひて ↓ ためらって

※ 「躊躇して」「でもよい」。

問四 C 傍線部を現代語訳せよ。

【5点】

※ 全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があっていれば、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A3 なやみ給ふよし B2 聞こゆれど、

〔解答例〕

A3 御病気であることが B2 うわさされたけれど、

〕ポイント

※ 「なやみ給ふ」の主体の有無は不問。

A【3点】なやみ給ふよし ↓ 御病気であることが

※ 「病気である」は「病気になった・病気にかかる・病気で苦しむ・体調が悪い」等でもよい。「病気・病・体の不調」の意がない場合は×。

※ 尊敬の意「御・おくになる・なさる・いらっしゃる」がない場合は、マイナス1点。

※ 「ことが」は「旨が・話が・うわさが」等でもよい。これがない場合や、「理由・わけ」等になっている場合は、マイナス1点。

※ 「ことが」の「が」は後方へのつながりがスムーズであれば「を」でもよい。

B【2点】聞こゆれど、 ↓ うわさされたけれど、

※ 「うわさされた」は「うわさになった・評判になった」等でもよい。

※ 「うわさ・評判」の意が明らかでない「聞こえた・耳にした」は、マイナス1点。

※ 「うわさ・評判」の意が明らかで、「聞いた・お聞きした」となっている場合はマイナス1点。

※ 「うわさ・評判」の意が明らかでなく、「聞いた・お聞きした」となっている場合は×。

※ 「けれど」は、逆接であれば「が・もの」等でもよい。これがない場合は、マイナス1点。

問五 傍線部「……」とあるが、これは公相のどのような気持ちを言っているのか。傍線部Yの内容を踏まえて説明せよ。 【8点】

〔傍線部〕 ひとつの憂へ

〔傍線部Y〕 **A5**恨みの至りて恨めしきは、盛りにて親に先立つ恨み、**B3**悲しみのせちに悲しきは、老いて子に後るる悲しみには過ぎず

〔解答例〕 **A5**自分が年の盛りに親より先に死ぬことになり、**B3**老いた親をひどく悲しませることになりそうだという心配。

〔ポイント〕

**A【5点】**自分が年の盛りに親より先に死ぬことになり、 ～（心配。）

※**1**「自分が死ぬ」と感じる気持ちの説明があれば【1点】。

※**2** **1**の説明があり、その「死」が「年の盛り」、もしくは「若くして」起きるといふ説明があれば、

**プラス【2点】**。

※**3** **1**の説明があり、その「死」が「親よりも先」に起きるといふ説明があれば、**プラス【2点】**。

**B【3点】**老いた親をひどく悲しませることになりそうだという心配。

※「親を悲しませる」と思う気持ちの説明があれば【2点】。

※右の説明があり、その「親」が「老いている」といふ説明があれば、**プラス【1点】**。

※文末は「嘆き・悲しみ・気持ち・心情」等、「心配」でなくても心情の説明になっていればよい。心情説明として適当でない文末になっている場合は、

全体から**マイナス【1点】**。

問六 傍線部「……」とは、どのようなことを言っているのか。簡潔に説明せよ。

【6点】

〔傍線部〕 さしもやは

〔解答例〕 **A6**死ぬほどの大病でもないだろう、ということ。

〔ポイント〕

※ 「病」に係る「太上天臣の・公相の」の有無は不問。ただし、別の人物の名が書かれている場合は、全体からマイナス3点。

**A【6点】**死ぬほどの大病でもないだろう、ということ。

※ 「死ぬほど」が明らかでない。「それほど」。言うほど深刻な・さほどの大病」等は【3点】。

※ 「病氣」について説明がなく、「死ぬ」とはないだろう・死ぬ程ではないだろう」等がある場合は【4点】。

※ 「ないだろう」は推量表現がない「ない」でもよい。

問七 『増鏡』は歴史物語に属する作品である。歴史物語に属する作品を成立順に並べたものとして正しいものはどれか、次の中から一つ選び、記号で答えよ。【3点】

〔正解〕

〔A3〕

〔ポイント〕

A【3点】

※「二」以外はX。

2021年度 第2回 有名大国公私大模試 「論語」「小学」

四 (漢文) 採点基準 (合計 50点)

問一 【解答通り】各2点 2×4=8点

解答 a ㍯たれか (「いずれか」も認める) b ㍯あやまちを

c ㍯ようやく d ㍯より

採点基準

・送り仮名がない 0点 例 a 「たれ」「た」 b 「あやまち」 c 「ようやく」  
d 「より」  
・よくある間違い 例 a 「だれか」「だれ」 c 「やうやく」「じやうやく」

問二 【解答通り】5点

解答 未だ学を好む者を聞かざるなり (と)

採点基準

・句読点は不要であるが、「ゝなり」「ゝなりと」「など許容」など減点。  
・漢字をひらがなにしているもの…「か所につき1点減点」

問三 【解答通り】7点

解答 ホ

問四 【解答通り】5点

解答 ロ

解答例

a 4点

b 3点

顔回や孟子を見習えば、たとえこの二人ほどにはなれなくても、

c 3点

これに近い賢人にはなれる ということ。

採点基準

全体…字数が四〇字なくとも要素が入っていれば加点する。

文が完成していないものは〇点。

「今の学ぶ者」「幼年の学習者」など主体の明示は不問。

a…「顔回や孟子を」の要素に2点。

「見習えば」の要素に2点。

「顔回」は「顔子」も可。

「顔回や孟子」を「顔回」のみ、または「孟子」のみにしているもの減点1点。

b…「たとえ」はなくとも仮定・逆接になっていれば可。

c…「これに近い」の要素に1点。

「賢人になれる」の要素に2点。

問六 【解答通り】 各3点〓6点

解答 X〓遷 Y〓弑

採点基準 ・「弑」の誤字に注意。

問七 【解答通り】 5点

解答 我之不<sub>レ</sub>動<sub>レ</sub>心、亦可<sub>三</sub>以如<sub>二</sub>孟子<sub>一</sub>矣

採点基準 ・送り仮名をつけているもの…不可。

問八 【解答通り】 4点

解答 三

以上